

## 重点戦略課題 ①

# 中小企業や創業に挑戦する市民へのきめ細やかな支援

## 市民生活の姿

札幌の経済を担っている多様な中小企業が、常に時代の変化に敏速に対応し、新たな事業に果敢に取り組んでおり、また、豊富な人材の集積やきめ細やかな支援制度を背景に市民やNPOによる起業が活発化し、持続的な経済の活力が生まれています。

## 現状と課題

### 中小企業がおかれている現状

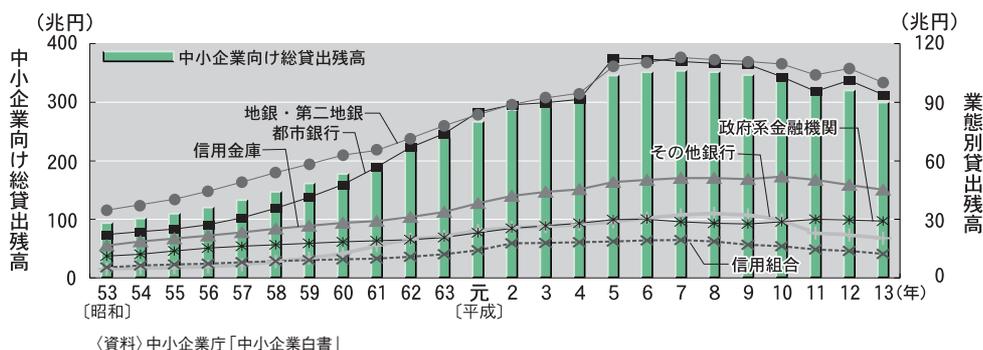
最近の日本経済全体については、バブル経済崩壊以降の長期低迷を脱し、大企業や製造業を中心として回復基調にあります。札幌の経済は、産業構造が異なることなどからいまだ低い水準にあり、競争の激化が進む中で企業は非常に厳しい状況にさらされています。

札幌市内に所在する企業は、その9割以上が中小企業に分類されますが、中小企業は大企業に比べて、利用可能な経営資源（ヒト、モノ、カネ、情報など）が限られているため、個々の企業の自助努力のみで現在の経済情勢に対応することは困難な状況です。

### 資金面からの支援の必要性

大多数の中小企業は、経営資金の大部分を金融機関からの融資に依存していますが、いわゆる「貸し渋り」「貸しはがし」の言葉に象徴されるように、昨今は金融機関自身の経営悪化などにより、貸出姿勢が抑制的になっているため、企業に十分な資金が行き渡らない事例も散見されます。このため、財務状況が悪化している企業も多く見られ、資金面からの支援施策を充実することは緊急の課題となっています。

### ●中小企業向け貸出残高の推移

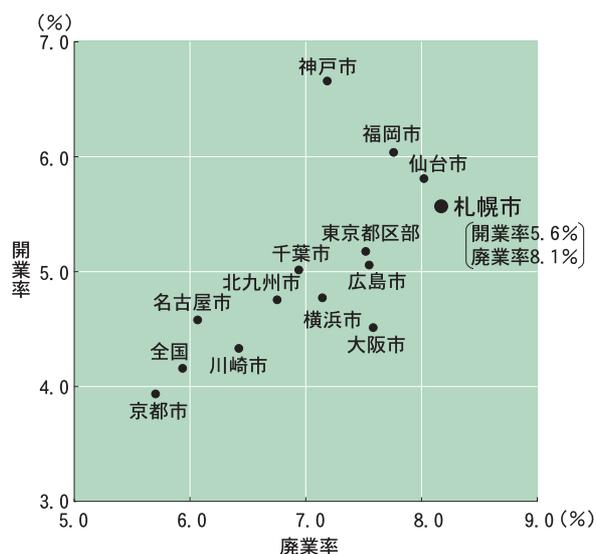


## 起業や新分野進出に重点をおいた支援の必要性

これまで日本企業の特徴の一つであった「終身雇用制」は次第に崩れてきており、若年層を中心として「起業」に関する意識が高まってきています。近年、札幌市内の企業数は減少傾向にありますが、開業率<sup>1</sup>は他の政令指定都市に比べ高く、起業に積極的な傾向があることがうかがえます。起業が活発になることは、札幌の経済の活性化にもつながるため、起業を考えている市民が失敗を恐れず積極的に開業し、自立的な企業として成長していくことができる環境を、資金面と制度面から整備することが重要です。

また、起業に加え、新事業、新分野にチャレンジする企業やNPOに対する支援策、商店街に代表される地域に密着した団体に対する支援策などについてもその整備が急務となっています。

●13大都市の開業率、廃業率の分布



注：平成8年から11年の間の開業率、廃業率である。  
 〈資料〉総務省「事業所・企業統計調査」

## 各主体の主な役割

### 市民

- 新規創業へのチャレンジ
- ベンチャー企業<sup>2</sup>への理解・投資 など

### 企業等

- 新事業・新分野への展開
- 技術開発への積極的な取り組み など

### NPO等

- 身近な生活サービス分野でのビジネス展開 など

### 行政

- 企業支援制度の拡充
- 創業支援体制の強化
- 新しい産業分野に関する情報提供 など



<sup>1</sup> 開業率〔廃業率〕 ある一定期間内の総事業所数に対する新設〔廃業〕された事業所数の割合。一定期間内に開業〔廃業〕した事業所数の年平均を総事業所数で除したものの。

<sup>2</sup> ベンチャー企業 ベンチャーは冒険という意味。「ベンチャー企業」とは、起業家精神に富み、新たな商品やサービスの開発といった創造的な事業活動に取り組む中小企業をいう。

# 施策と事業

## 施策の基本方針

札幌のまち全体を元気にするため、札幌経済を支える中小企業や新しい事業を起こそうと挑戦する市民、NPOに対し、「札幌元気基金」として500億円規模の資金の枠組みづくりを進め、ニーズに応じた効果的な資金面での支援を強化するとともに、専門家によるアドバイザー制度、人材育成や情報提供の充実など、実効性の高いきめ細やかな支援を行います。

### 重点戦略課題①

中小企業や創業に挑戦する市民へのきめ細やかな支援

施策 1 資金面での支援の充実

施策 2 人材育成、情報提供などのきめ細やかな支援

施策 3 起業や新分野進出に関する支援

## 施策 1 資金面での支援の充実

中小企業を資金面から支援するため、「札幌元気基金」の枠組みづくりを進めます。現状の厳しい融資状況にかんがみ、高い技術を有しながら担保不足などで融資を受けることが困難な企業や、仕入れ・決済など短期の資金が必要な企業への対応など、長期短期の資金需要に対し、金融機関などのリスク負担を十分に考慮しつつ、柔軟な制度設計となるよう、資金面での支援の充実を図ります。

事業名	事業内容	事業費	備考
札幌元気基金事業	地域経済を支える中小企業や創業に挑戦する市民などの事業活動を資金面から力強く支援するための新たな枠組みとして「札幌元気基金」を創設します。	—	
小規模事業元気資金 [普通資金]	小規模事業者を対象とし、長期的な視点で事業者の経営内容を安定させるため、金融機関のプロパー融資 <sup>3</sup> を活用して、長期の無担保融資制度を創設します。	305百万円	●融資限度額1,500万円 ●融資期間3年以内
小規模事業元気資金 [短期資金]	小規模事業者を対象とし、仕入れ、決済などに使う短期資金を充実し、事業者の資金繰りを安定させるため、短期の無担保融資制度を創設します。	221百万円	●融資限度額1,500万円 ●融資期間1年以内 ●保証料補給0.35%分

<sup>3</sup> プロパー融資 プロパーは固有の、企業独自の、という意味。金融機関独自の融資制度を「プロパー融資」という。

事業名	事業内容	事業費	備考
経営革新支援資金 [一般資金]	高い技術などを有しながら、担保不足等により融資を受けることが困難な中小企業者を対象とし、事業評価機関を活用した無担保融資制度を創設します。	6,644百万円	●融資限度額5,000万円 ●融資期間10年以内 ●保証料補給0.35%分
経営革新支援資金 [札幌ブランド推進資金]	以下の製品をもとに事業化する者を対象とし、事業評価機関を活用した無担保融資制度を創設します。 ①札幌デザインコンペティション <sup>4</sup> 受賞作品 ②「札幌スタイル」認証製品 ③旧Made In 札幌グランプリ等受賞製品	—	●融資限度額5,000万円 ●融資期間10年以内 ●保証料補給0.35%分
経営革新支援資金 [ISO認証・HACCP対応資金]	以下の者を対象とし、事業評価機関を活用した無担保融資制度を創設します。 ①ISO <sup>5</sup> の認証取得または更新等をする者 ②食品の製造工程などの改善にHACCP <sup>6</sup> (危害要因の分析および重点管理システム)を導入する者	—	●融資限度額5,000万円 ●融資期間10年以内 ●保証料補給0.35%
企業再生支援資金	北海道の企業再生ファンド <sup>7</sup> の対象企業で、緊急的に運転資金が必要な中小企業を対象とし、短期資金の融資制度を創設します。	1,093百万円	●融資限度額1億円 ●融資期間1年以内
さっぽろ元気 NPOサポートローン	市民活動団体が金融機関から活動に必要な融資を円滑に受けられるよう支援を行います。	23百万円	●運転資金 融資限度額500万円 融資期間原則1年以内 ●その他設備資金あり
中小企業金融対策 資金	中小企業者などが、事業経営に必要なとする資金を円滑に調達することができるよう、各種の融資制度を運用します。	227,035百万円	

<sup>4</sup> コンペティション 競争。競技。競技会。コンペ。

<sup>5</sup> ISO インターナショナル・オーガナイゼーション・フォー・スタンダードイゼーション (International Organization for Standardization) の略。国際標準化機構。工業・農業製品の規格の標準化を目的とする国際機関。

<sup>6</sup> HACCP ハザード・アナリシス・アンド・クリティカル・コントロール・ポイント・オブ・エバリュエーション (Hazard Analysis and Critical Control Point of evaluation) の略。ハサップ。食品の品質管理の手法。食品の製造過程で発生する可能性のある衛生・品質上の危険性を分析し、安全性確保のために監視すべき重要管理点を定め、厳格に管理・記録を行うシステム。

<sup>7</sup> ファンド 基金。資金。

## 施策 2 人材育成、情報提供などのきめ細やかな支援

中小企業の経営基盤の強化を図るため、豊富な知識や経験を有する人材の活用によるアドバイザー制度や、経済環境の変化にも高い適応力を有する実践的な人材の確保と育成、企業経営者の自己啓発情報といったタイムリーで企業経営に有益な情報の幅広い提供など、中小企業、零細企業の多様性に応じたきめ細やかな支援を行います。

事業名	事業内容	事業費	備考
中小企業アドバイザー事業	豊富な知識や経験を持つ退職者を「中小企業アドバイザー」として雇用または登録し、資金調達や販路拡大、IT化支援など市内中小企業の経営を側面から支援します。	82百万円	
首都圏市場開拓イニシアティブ <sup>8</sup> 事業	地元情報技術関連企業等の首都圏進出をハード、ソフト両面から支援することを目的として、東京事務所にビジネス支援拠点を整備し、販路拡大のためのモデル事業や軽易なコンサルティング（相談、助言）などを実施します。	30百万円	

## 施策 3 起業や新分野進出に関する支援

新製品の開発、新たな分野への進出などに挑戦する中小企業や、事業を起こそうとする市民、NPOが十分な資金を活用できるよう、「札幌元気基金」の枠組みにおいて、起業や新分野進出関連に重点をおいた施策を実施します。

さらに、起業を目指す市民を対象としたセミナーや交流会、事業計画の立案や資金計画の策定についての相談業務を実施するなど実効性の高い支援を行っていきます。

また、コミュニティ活動の中心として、地域に密着した商店街の活動や地域密着型市民事業（コミュニティビジネス）<sup>9</sup>など地域に根ざした事業活動に対する支援の充実も図ります。

<sup>8</sup> イニシアティブ 率先して発言したり行動したりして、他を導くこと。

<sup>9</sup> 地域密着型市民事業（コミュニティビジネス） 地域住民が主体となって、その地域の問題を解決するうえで、地域内の資源を活用しながら継続的なビジネスの形で展開し、地域を元気にしていく事業。

事業名	事業内容	事業費	備考
都心部空き店舗 活用型創業支援事業	新たに小売業やサービス業を始めようとする起業家を支援するため、都心商業地の空き店舗を活用し、起業を志す人を短期間入居させ、経営アドバイスなどを行いながら、本格的独立開業に向けた支援を行います。	30百万円	
札幌元気基金事業	地域経済を支える中小企業や創業に挑戦する市民などの事業活動を資金面から力強く支援するための新たな枠組みとして「札幌元気基金」を創設します。	—	
創業チャレンジ 支援事業	創業時の資金面での支援を充実させるため、商店街で小売業・飲食店およびサービス業を開業する者で一定の要件を満たした事業者に対し、無担保融資制度を創設します。	1百万円	●融資限度額500万円 ●融資期間5年以内
ベンチャー支援事業	成長性の高い先端技術産業分野などで創業を目指す起業家や設立後間もないベンチャー企業に対し、事業を軌道に乗せるまでの人的支援を行うとともに、資金的支援の新たなしくみづくりを進めます。	355百万円	

## 成果指標

	現状値	目標値
事業所増加率（年平均）	▲1.3% (H8~13)	▶ ±0% (H13~18)
中小企業向け融資制度の新規融資件数	7,159件 (H14)	▶ 11,000件 (H18)
中小企業向け融資制度の新規融資額	638億円 (H14)	▶ 2,414億円 (H16~18)
中小企業支援事業利用実績	3,584件 (H14)	▶ 5,000件 (H18)